

西日本高速道路株式会社九州支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和6年1月31日（水） 九州支社 2階会議室	
出席委員 （五十音順・敬称略）	井上 正義（弁護士）、笠間 清伸（九州大学）、鍋嶋 隆志（弁護士）、 前越 俊之（福岡大学）、横田 守弘（西南学院大学）、 吉武 哲信（九州工業大学）	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日	
抽出案件／対象件数	6件/115件	件名等
工 事	一般競争入札	1件/4件 ・令和4年度 九州自動車道（特定更新等） 矢部川橋床版取替工事
	条件付一般競争入札	2件/37件 ・令和5年度 八木山バイパス 篠栗舗装工事 ・令和5年度 東九州自動車道 宮崎高速道路事務所管内のり面補修工事
	指名競争入札	0件/0件 —
	随意契約	1件/4件 ・令和4年度 東九州自動車道 伊形地区災害応急復旧工事（その1）
調査等	1件/40件	・令和5年度 東九州自動車道 大分宮河内IC～臼杵IC間水文調査
維持管理役務及び 物品・役務	1件/30件	・令和5年度 北九州高速道路事務所 湿塩散布車購入

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
◆入札監視事務局からの報告 令和5年度上半期 工事入札契約状況報告 —	—
◆入札・契約手続きの運用状況等の報告 —	—
◆抽出案件①の審議 【令和4年度 九州自動車道（特定更新等） 矢部川橋床版取替工事】 ① 同価格での入札があるが、入札参加者の積算方法について、どんなことが考えられるか。	① 単価については公表しているものに加え、入札参加者に見積りを取り採用した単価を通知しているものもあるため、そのような入札金額になっているものと思われます。

<p>◆抽出案件②の審議 【令和5年度 八木山バイパス 篠栗舗装工事】</p> <p>① 技術審査結果のうち、工事成績の評価について極端に低い会社があるのはなぜか。どのような背景があると低くなるのか。</p> <p>② 技術評価点が最も高かった者が、入札価格が契約参考価格を上回ったことから、落札できなかったということだが、落札決定のしくみを教えてほしい。</p> <p>③ 単価の公表や積算ソフトなどで、発注者の設計額に対し近似値で算出されるものとも思うが、乖離が生じる理由はどんなことが考えられるか。</p> <p>④ 総合評価項目のうち、企業の施工能力について、工事成績や優良工事表彰等の項目があるが、これは工事内容によって評価点数が決まっているのか、また類型化されているものがあるのか。</p> <p>⑤ 標準で定まっているとのことだが、例えば、若手又は女性技術者の配置や障がい者雇用に関するものは、時代背景で追記されてきたものと思うが、定期的に見直しされるものなのか。</p> <p>⑥ 入札公告は入札のどのくらい前に行うものか。</p> <p>⑦ 技術審査結果の「工事成績等」について、当該工種工事の平均点が2年連続で65点未満でないこと、実績がない場合は65点とされているが、2年間実績が無くても参加資格があると考えてよいか。また、過去5年間の工事成績の平均点はどのように算出しているのか。</p>	<p>① 工事成績が極端に低くなる要因として、工事中に事故を発生させ、文書警告等の措置を行ったもの等が考えられます。</p> <p>② 基本的には契約参考価格以下の入札者がいる場合は、その中で価格点と技術評価点の合計が最も高い者が落札者となり、契約参考価格を上回る者については、除外されることとなります。</p> <p>③ 単価公表に加え積算ソフトが出回っているため、ある程度近似値で応札されることもあると思いますが、舗装工事は複雑な積算内容のため、難しい面もあったと思います。</p> <p>④ 当社HPでも公表していますが、工事内容ではなく、工事の発注規模によって施工能力型、施工実績型、施工計画提案型といった形式を採用しており、それぞれで評価する項目や配点の標準を定めています。</p> <p>⑤ 定期的な更新はありませんが、時代の流れに沿って評価内容を見直しています。例えば障がい者雇用の率などは今年の4月より見直されますが、当社の基準も見直す予定です。</p> <p>⑥ 本工事においては、約2か月半前に入札公告を行っています。</p> <p>⑦ 2年間の実績はなくても「参加資格有り」となります。平均値の算出方法は、5年間の当該工事と同一工種の全ての点数の平均値により算出しています。</p>
<p>◆抽出案件③の審議 【令和4年度 東九州自動車道 伊形地区災害 応急復旧工事（その1）】</p> <p>① 災害の応急的な復旧を依頼するにあたって、通常より単価が高くなることはあるのか。</p> <p>② 事務所において災害協定を締結していた者の中から受注者を選んだとのことだが、そもそも宮崎の事務所から遠隔地にある福岡市の会社と災害協定を結ぶことはあるのか。</p>	<p>① 災害復旧工事であることをもって単価を高くすることはありません。</p> <p>② 受注者の営業所が宮崎にあることから協定を締結しています。なお、今回当該業者が近隣で工事を行っていたことで早期に現地着手できたことから選定しました。</p>

<p>◆抽出案件④の審議 【令和5年度 東九州自動車道 宮崎高速道路 事務所管内のり面補修工事】</p> <p>① 「審査対象基準価格を下回ったため落札者としなない」とあるが、他の工事では低価格による低い入札率で契約したものもある。こういった違いがあるのか。</p> <p>② 入札価格が低く自動失格となり落札者とされなかった者が3者いるが、NEXCOの積算価格が高いといったことはないのか。また今後には生かすため、このような結果について検証しているのか。</p> <p>③ 本工事は不人気工種であるため、指名併用で広く募集した手続きを取っているが、辞退する者が多くいる。この状況から、例えば積算価格の設定の仕方を見直さなければならない、といったことは考えないのか。</p> <p>④ のり面の工事以外に不人気工種があるのか。</p>	<p>① 当社の適正な入札価格帯は審査対象基準価格以上、契約参考価格以内の間としており、この価格帯に入札者がいない場合で、審査対象基準価格を下回った者がいる場合に、低入札価格調査を行ったうえで契約に至るといったケースがあります。</p> <p>② 同様の状況が続くようであれば、当社の積算基準についても実態と相違があるのか検討していくことと思われます。</p> <p>③ 本工事は、コンクリート吹付のような、のり面の補修工事でも過去に応募者がいないといった不調を経験していることから不人気工種と判断し、広く募集したものです。辞退者については辞退理由書を徴取しており、8割以上の者が「技術者の確保が難しい」や「施工体制が整わない」といった理由であり、価格を理由とした辞退ではないと認識しています。</p> <p>④ 小規模な建築工事に不調が多い傾向です。九州では、熊本のTSMCの関連で、建築業界の人手がそこに集中していることも考えられます。</p>
<p>◆抽出案件⑤の審議 【令和5年度 東九州自動車道 大分宮河内IC～臼杵IC間水文調査】</p> <p>① 審査対象基準価格とは何か。</p> <p>② 応募者の中から入札参加者を10者に絞り込む際に点数で決められているが、どこで差がついているのか。</p> <p>③ 開札結果を見ると、価格が低く落札に至っていない者が多い。NEXCOの積算価格が高いといったことはないのか。</p>	<p>① 審査対象基準価格とは、最低入札者が適正な業務履行が可能かについて調査の必要があると判断する価格であり、間接費や技術業務費、諸経費等を低減させて設定した基準額です。</p> <p>② 現場作業責任者に求める資格で「技術士」であるものと「RCCM」の資格であるものとの差や、働き方改革への取組みの項目になりますが、「くるみん」や「えるぼし」認定を持たれているかどうかで差がついています。</p> <p>③ 技術者に余力がある者や、対象箇所の近くに会社拠点がある者など、様々な要因で低減したうえで応札されているものと思います。当社は積算基準や地質調査の要領に基づいて積算していますが、応札額との開差に対する原因は分かりません。</p>

<p>◆抽出案件⑥の審議 【令和5年度 北九州高速道路事務所 湿塩散布車購入】</p> <p>① 契約期間が720日間で、湿塩散布車を2台購入となっているが、2年も期間が必要なのか。</p>	<p>① 車両本体の購入に併せ、薬剤を積込む架装部や標識等を搭載するため、これらの製作期間を含めると720日程度は必要になります。</p>
<p>◆全体を通じて</p> <p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> <p>特になし</p>	